

周波数の国際協調利用促進事業 平成 30 年度 事前評価結果

案件名		実施期間	評価会での主なコメント	評価点
高度道路交通システムの通信技術の国際協調利用促進	V2X (Vehicle-to-X: 車車間通信、路車間通信等) 技術を用いた安全運転支援システム	H30-H32	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の 700MHz 帯の V2X 通信を用いた安全運転支援システムを国際標準とし、世界に広めていくことは、日本の産業界が世界市場の成長分野での地歩を固める上で極めて重要。 ・普及条件の技術的優先課題は割り当てられる周波数帯である。WRC-19 において支持を得るために当該技術のデモンストレーションを行い、優位性を示すことは非常に有効である。 ・全体の規模感としては、提案システムの有用性を示すのに、ほぼ必要十分な内容およびその結果としての金額であると考えられる。 ・中東・アジア地域における交通問題はニーズが大きく、我が国の技術が役立つ可能性は極めて高い。 	4.8